友愛
発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10
電話(941)2801
編集兼発行人　宮田晴
定価1部　10円

全国代表者を招集す

第十二回大会を読売ランドで

第十二回全国大会は去る三月十日、支部で選出した通り、東京都南多摩郡にある読売ランド地方学生ホテルで開催することに決定した。別記のように昭和四十年度の本会事業方針等を審議し、青少年活動の先端を行くにふさわしい団体として、また指導的な役割りを果すべく、全国代表者の熱烈な討議を期待するものである。

第十二回全国大会開催要項

一、主旨　友愛青年同志会は、友愛思想の普及と青少年の健全育成を目指してのたゆまざる努力の積み重ねによって漸やかしい発展を遂げて来た。特に昨年は東京オリンピックの際に開催された世界青少年キャンプにおいて中心的な役割りを果し、本会に対する評価は内外ともに、広く高まって来たのである。

本年もまた青年海外協力隊の東南アジア派遣を中心とする青少年の国際交流事業、益々多難となって来た国内青少年問題への取り組み等重大な責務を負わなければならない。

ここに第十二回全国大会を開催し、全国同志会員の代表者参集のもとに、昭和四十年度運動方針、事業計画、予算案等を審議決定し、昨年までの評価と反省の上たって内外青少年活動の推進と本会の一層の発展充実をはかる。

二、期日　昭和四十年五月二日、三日、四日

三、会場　読売ランド（東京都南多摩郡稲城町矢ノ口三一九四）

四、議題案
一、本部提出議題案
(1)昭和四十年度運動方針について。
(2)昭和四十年度事業計画について。
(3)昭和四十年度予算について。
(4)昭和四十年度組織活動方針について
(5)会則改正について
(6)昭和四十年度役員選出について
(7)体力向上運動の推進について
(8)大会宣言について
二、地方提出議題案について
都道府県連、支部、地区、学生部からの提出議案を七月十一日(月)までに議題名、趣旨を文書にして提出すること。議題案作成にあたっては、昨年度までの全国大会要覧を参照のこと)

五、代表者
一、各支部、地区、学生部代表および本部役員
二、支部代表三名以内、地区代表一名、学生部代表二十名以内
三、都道府県連代表二名

六、代表資格
一、大会一カ月前までに正式登録会員であるもの。
二、各支部、地区、学生部で選出され、本部で認定されたもの
三、四月十二日までに代表者名簿を提出したもの。

七、代表者の旅費は一等片道実費(ただし学生は二等)を急行料金を除き本部で負担する。(ただし昼食は各自負担)

八、参加費は、代表一名につき一千円を代表者と添えて納入する。

九、オブザーバーの参加は自由とするが、その取り扱は次の通りとする。
一、代表者名簿と同じ名簿を提出すること。
二、すべての会議、行事に参加を認めるが議決権はない。
三、旅費、宿泊料は自己負担とする。
四、参加費は一千円を名簿に添えて納入する。

十、日程

五月一日　三・〇〇〜六・〇〇　資格審査委員会
大会運営委員会、(五・〇〇〜六・〇〇)
六・〇〇　夕食
七・〇〇　常任幹事会、大会委員会
十・〇〇就寝

五月二日
六・〇〇　起床
七・〇〇　朝食
八・三〇　幹事会
九・三〇　代表受付
十・三〇　オリエンテーション
十一・〇〇　開会式
十二・〇〇　昼食
一・〇〇　本会議
二・〇〇　分科会
四・〇〇　自由懇談、入浴
六・〇〇　夕食
七・〇〇　ブロック別懇談会
十・〇〇　就寝

五月三日
六・〇〇　起床
七・〇〇　朝食
八・〇〇　分科会
十二・〇〇　昼食、役員選挙委員会
一・〇〇　総合討議
四・〇〇　自由懇談、入浴
五・三〇　夕食
六・三〇　文化祭
十・〇〇　就寝

五月四日
六・〇〇　起床
七・〇〇　朝食
九・〇〇　本会議
十一・三〇　閉会式
十一・〇〇　記念パーティー

第3次 友愛東南ア使節団帰国

去る三月二十一日午後十時羽田空港を出発した、第三次友愛東南アジア派遣青年使節団一行二十名は、三月十三日午后五時二十分無事帰国した。一行はカンボジヤ、タイ、マレイシヤ、香港、台湾等各地を歴訪し、大歓迎を受けて、各国青年団と深い交流を結び、今後の親交を約束する等立派な成果をあげて帰団したものである。本会にとっても、第一次、第二次に続いて、国際交流事業の果す意義を充分に理解し今後の方策を更に検討してこの事業の成果を一層上げるよう努力したいものである。

(別掲)

横浜港で元気な顔を

マレイシヤ女子留学生　日本に到着する

かねて本会が招待していたマレイシアの女子留学生二名が、三月二十一日早朝八時ラオス号にて横浜港に入港した。

大桟橋には、友愛の旗や歓迎のノボリをもって、奥田吉郎幹事長、渡辺寛治常務理事、宮田晴常務局長、鶴巻孟雄国際委員長、第三次東南アジア使節団の中川治男代幹事等約三十名が出迎えた。

来日した二人の女子留学生は、ニニ・イウォン・ユエットさん(二十歳、ペナン州)とヤリアア・スガ・ウディロンさん(二十一歳、トレンガンヌ州)で、本会と交流をしているMAYC(マラヤ青年クラブ協会)が全国から募集し、七十五名の志願者中から厳選されたものである。

二人は、これから二年間、福岡市塩原にある純真女子短期大学(福田昭夫学長)で家政学を勉強することになっている。地元では福岡県連(会長＝矢野彦蔵君)を始め、第二次使節団でマレイシアを訪問した真武信吾君、渡辺寛治がその世話にあたり、今春西南学院大学英文科を卒業した会員の川辺厚子さんが目常の世話をみることとなった。

二十一日は、宿舎第一ホテルに宿泊、来日後の打ち合わせを宮田事務局長とおこなった。翌二十二日午前十時、鳩山総裁会を音羽邸に訪問、あいさつ歓談ののち本会の本部事務所を訪れた。そのマレイシア大使館、文部省青少年教育課にあいさつ、昼食をマレイシア大使館のマジド参事官宅でご馳走になり、午後は、中央青少年団体連絡協議会、外務省情報文化局南東アジア課を訪問、夜は本会主催でレセプションをおこなった。

【写真右はニニさん・左はシヤリファさん】

二十三日は、午前中銀のため、昼食は椿山荘において第一次、第二次、第三次、東南アジア使節団の同窓会をひらいて歓迎した。

その日午後四時三十五分福岡に向け東京駅を出発、現地に向った。

二十五日は、自由時間にあて、午後は国立競技場、絵画館、明治神宮、駒沢競技場を見学した。

二十六日は、宿舎第一ホテルにおいて第一次、第二次、第三次、東南アジア使節団の同窓会をひらいて歓迎した。

その日午後四時三十五分福岡に向け東京駅を出発、現地に向った。

【写真右はニニさん・左はシヤリファさん】

メキシコを目指し

世界キャンプ委再発足

オリンピック世界青少年キャンプ委員会は、三月九日午後一時より総理府特別室で参加団体二十五を集めて、発会式をおこなった。

上村文三氏(婦青会)の司会により開会、古屋俶氏(日青協)が議長につき、奥田吉郎氏(友愛)より経過報告および趣意を説明、来賓として中青協事務局長赤石清悦氏、キャンプ事務局長寺岡毅氏のあいさつがあった。

その後趣意書、規約、役員を決定した。

この経過は東京オリンピックの際に「世界青少年キャンプ」を開設して数々の果実をあげ、その推進的な役割を果たしてきた世界青少年キャンプ青少年団体委員会が、昨年の暮に解散をおこなった。

ところが、「メキシコ世界青少年キャンプ」の開催等、継承しなければならない問題もあって形を変えて存続することになり、三回にわたる準備小委員会(委員長金谷敏郎氏)を開催、趣意書・規約をまとめ発会式にのぞんだものである。

その概要は次の通りである。

一、名称　オリンピック世界青少年キャンプ委員会

二、目的　オリンピックの際に開設される世界青少年キャンプの諸事業を推進し、青少年による国際親善を果すとともに、わが国青少年の資質の向上をはかることを目的とする。

三、事業　1、オリンピック世界青少年キャンプの派遣
2、オリンピック世界青少年キャンプの国際組織の結成促進
3、国内青少年キャンプの開催
4、その他目的にそう諸事業

日本投資

事務局長　奥田　吉郎　友愛
専務理事　金谷　敏郎　郵便
〃　竹内　菊枝　YWCA
〃　亀岡　重則　修養団
〃　上村　文三　婦青会
〃　阿部三也夫　スポーツ
理事　清水　俊子　GS
監事　橋本　忠雄　生長の家
〃　島崎　新宅　宏二　鉄道
〃　関口　清春　赤十字

役員
会長　川崎　秀二　日独
副会長　小林　巽　BS
〃　幡山　祐吉　YH
〃　古屋　脩助　日青協

オブザーバー団体
全日本学生ワンダーフォーゲル連盟
日本青年団体国際委員会、中央青少年団体連絡協議会

北区

ヴェトナム問題懇談会開く

去る四月二日、赤坂「ままち」にて、六時から、日本青年団体国際委員会の主催で、友愛訪問団体より十二名の参加の下に国際協力研究会が開催された。

研究会は、現在世界の関心事であるベトナム問題に就いて、軍事評論家の小谷秀二郎氏による講義が行われ、宮崎を受けた。

直言

◆第12回全国大会が間もなく開かれる。事務的な準備も、会場も、参加者がどんなに増えても万全を期す態勢が整っている。全国会員諸兄とともに、この大会において昭和四十年度の一層の進展を図って頂きたい。

◆第三次友愛東南アジア使節団が帰国した。その報告は別掲の通りであるが、各地において今までにない大歓迎を受け、立派な成果をあげたことは、団員各位の努力もさることながら、日本の青年に対する期待がより大きく東南アの各国の人々の胸に秘められているものと思われる。全国の友愛マンは、それに答える方法として一層青少年教育の発展われわれ自身の向上に努め、より多く青年を各地に送り出すと同時に東南アジア各地の青少年を日本へ呼んで、より良い勉学の場を与えてやろうではないか。

◆本会が受け入れを約束したマレーシヤの女子留学生二名は、別掲のとおり、元気に機嫌よく到着した。これから二年間、福岡の純真女子短期大学に学ぶわけであるが世話をする方々には、十分な理解を願って、サービスの過剰とか、適切なアドバイス等を忘れないように、計画性のある毎日を過ごさせてやってほしいものである。

◆今次会には、体力つくりを国民運動としてとりあげるように提案される。青少年の健康は、当然将来を期待されるものとして、自分自身のためばかりではなく、社会全般に対する影響のいかに大きいかをよく考えて、自己に管理しあってかなければならない。本会では、あらためて企画するまでもないが、さらに充実をはかる意味において、あらゆる会合にこの一項を加え、実行したいものである。

◆友愛基金が募集されているのは衆知のとおりである。友愛運動は他から育てられるのではなく、会員一人一人の手によって育てていかなければならない。誰かがやるだろうでは、明日はないのである。全国会員諸君/友愛の明日を築こうではないか。それが会員としての使命なのである。われわれの耕す畑は、将来の青少年を育てる基盤となるのである。

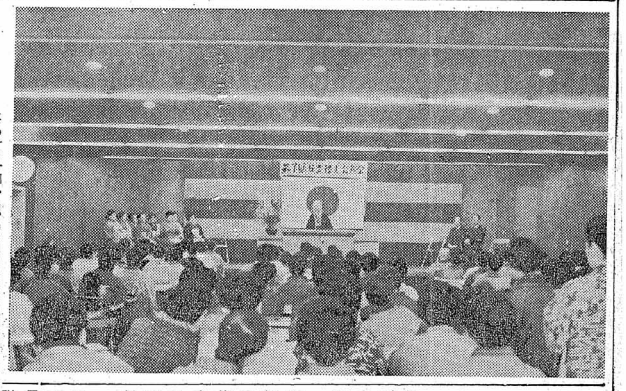
全国を統一して
8ブロックの国土美化

さる一月十四日より三月五日までの長期にわたり「友愛国土美化運動推進ブロック研修会」が実施され、全国組織をあげて各ブロック別に開催することができた。

これは第七回新生活運動研修会および国際道義高揚友愛キャラバン隊に参加した各都道府県代表者が、オリンピック終了後の国土美化運動推進のあり方を各地の条件にそって研究を進めていたが、さらにこれの理論的裏付けと具体的な実施方法を討議研究し、加えて各地域に多数の国土美化運動推進指導者および実践者を養成することを目的としたものである。

主な講義内容は、青少年の立場から考えられる地域的な国土美化実践活動のあり方を中心としたもので、①冬期オリンピックの誘致とその受入れ②国際社会における青年の立場③日本の青年運動④友愛運動および友愛山荘と国土美化運動⑤地域社会における国土美化運動と住民意識等の講義題目で各都道府県代表者が、オリンピック終了後の国土美化運動推進のあり方を各地の条件にそって研究を進めていたが、さらにこれの理論的裏付けと具体的な実施方法を討議研究し、加えて各地域に多数の国土美化運動推進指導者および実践者を養成することを目的としたものである。

主な講義内容は、青少年の立場から考えられる地域的な国土美化実践活動のあり方を中心としたもので、①冬期オリンピックの誘致とその受入れ②国際社会における青年の立場③日本の青年運動④友愛運動および友愛山荘と国土美化運動⑤地域社会における国土美化運動と住民意識等の講義題目で



全国的に統一された内容を持たせたことは、この種事業では始めてであった。

北海道・東北・中部・関西・中国・四国・九州・関東の八ブロックに分かれて、講師には本部関係者をはじめ開催地での教育委員会関係者等が招かれ、充実した内容となった。

最後になった関東ブロックでは都会地における美化運動が、完全に実施することができれば、これが地方における多数の人々は相当重要な割りとして現われるわけではないか、参加者一人一人の意見が一致して、一層自主的な事業を進めるよう宣言して会を閉じた。

次回新生活運動研修会は夏期に開催される予定になっているので今回の実施したブロック別研修会の報告書を総まとめして、更に討議をするよう申しあわせて日程を終了した。【写真は関東ブロックで講演する千葉弘見教育大教授】

友愛婦人会の総会
西本新幹事長を選出する

さる三月二十九日午前十一時より、文京区役所別館ホールにおいて、友愛婦人会（会長＝鳩山薫本会々長）の第七回総会が約七百名の会員を集めて開かれた。

会は荒畑事務局長の開会の辞、押川加永副会長の司会で進められ、初めに荒畑寒村常任幹事（駒込支部長）の司会で進められ、初めに押川加永副会長の開会の辞、西木まさ子常任幹事（会計）の会務報告やよび会計報告、鳩山薫会長のあいさつ、続いて文京区議会の古賀一郎議長、奥田吉郎本会幹事長、四宮久吉衆議院議員などから祝辞があって議事にはいった。

議事はまず初めに押川加永副会長を議長に選び、第一号議題の昭和四十年度事業計画について、第二号議題会則改正について、第三号議題役員の選出についての順で審議された。

会則改正では、現行の会長、副会長、常任幹事、幹事制度に新たに幹事長が加えられ、また従来の役員任期一年が二年間に延長されることになった。これにもとづいて選出された役員は、新しく設置された幹事長に西木まさ子さん（大塚支部）が選出された他は鳩山会長、押川副会長、井上孝子副会長以下全役員が再選され留任することになった。

総会終了後、懇親会にはいり各支部選出の代表がそれぞれの得意の芸を披露し集まった会員を楽しませ午後三時半閉会した。

なお主な事業計画は次の通りである。

△事業計画▽
①会員名簿の発行
②春期バス旅行
③秋期バス旅行
④第二回友愛バザーの開催
⑤歳末助けあい運動
⑥新年大会
⑦第八回定期総会

早朝墓参会におでん
故鳩山先生の印象を聞く

東京都新生運動会（会長＝柳沢定勝氏）では毎月七日谷中の鳩山先生の墓前にて早朝墓参会をおこなっている。

しかし、春にはまだ早かったためか、ここ二、三月は集りが少ないことが指摘されていた。そこで三月七日は先生の命日でもあることにし、多くの人に集ってもらうことを考えた。早朝墓参をし、父祖をうやまうことをもって、寒い時期なので焼芋を出そうということになった。

焼芋に釣られたわけではないが文京区議会の古賀一郎議長、奥田幹事長、柳沢都連会長をはじめ二十人位の人たちが集り、焼芋を食べながら、勤め先の一時間も懇談して、それぞれの会社に向った。

その中で、鳩山先生はこまやかなことが好きだったということで、四月はぜひお花見気分でということになった。

四月七日は古賀先生の誕入れもあって、おでんを食べる会になりました。奥田幹事長の提案もあって鳩山先生縁りの人を招いて、話を聞くという企画が練られ、第一回目として、先生の遺筆をすっとお手伝いしてきた秋本平十郎氏にお願いすることになった。

例によって六時三分ごろになると、谷中の先生の墓前に人が集りだし、その回りが静かされ、枯葉に火がつけられ、お参りが済むころになると、もう、おでんがグツグツと煮え、良い臭をただよわせていた。とくに、食欲旺盛な学生部は、お参りが済むと早く早くとせがんだ。

桜は二、三分咲できまだという感じで、将に、花よりおでんとなった所であった。

秋本平十郎氏は、鳩山一郎先生のはじめての選挙以来、市会に四回、衆議院に十五回、ずっとお手伝し、先生が総理大臣の時、選挙事務長を務めた方である。

秋本氏は、選挙の思い出を語った後、先生の印象を次のように語った。

その一つとして、先生は「人間不自由に徹すれば不足なし」といわれ、健康に良いということで、麦の銀嫁を食べ、普段からの先生の質素な人柄をしのばせていた。

次に、先生は幼い時の父母のこういけ付けを守っているということである。先生が戦犯で追放されていた時も、軽井沢で農耕生活を送り幼少時代、和夫博士（先生の父）が、鋤を持つことを教えたものであり、選挙をしていても、お菓子お茶など、決して粗末にしない習慣を感じることができたということである。

親睦旅行で大洗海岸へ

婦人会の友愛婦人会青の親ぼく旅行は、四月二十二日、三日の両日大洗に出かけた。

幹事長の西本まさ子さんを責任者としてバス二台に一〇人が分乗しにぎやかなバス旅行となった当日は快晴にめぐまれ、海の眺めも満喫らしく、大洗海岸の景観をたののうした。

夜は大洗ホテルに一泊、三〇〇畳敷の大広間で清水幹子さん、三浦澄子さんを司会として演芸大会を開催し楽しい一夜を送った。

なお前述係として高瀬香さんが活躍した。【写真は総会の席上元気に挨拶する鳩山会長】

体力つくり懇談会
国民会議発足を決定する

国民の健康・体力の増強をはかろうとの趣旨で、去る二月二十五日午後一時から総理府講堂において懇談会が開催された。

参加した団体は、国民の各層に及ぶ一七〇余の団体で、本会も青年団体の立場から青少年の体力向上に貢献を表し出席した。

懇談会は古井喜美氏（衆議院議員）を議長にして、各団体より提案などがあり政府に対する要望をのべたのち、「体力つくり国民会議」を発足されることになった。

新しい会議議長には古井喜美氏が満場一致推せんをされた。

政府においても、懇談会でおこない体力の向上についての重点事項として、一、保健衛生を改善する。二、体育・スポーツ・レクリエーションを普及する。三、強力な精神力（根性）を養うその三項目を発表している。

本会においても、第十二回全国大会に議案を提出し本格的に取り組むことになった。

なお国民会議は六部会にわれ、本会は教育事部会に属することになった。

WAYセミナー開く
青少年問題を重点的に

去る三月十一日より十四日までの四日間、第二回国際青少年指導者セミナーは、静岡県御殿場市の国立中央青年の家にて、中央青少年団体連絡協議会の主催で、参加者四十名をもって開催された。

テーマは、「現代における青少年団体活動の展開と国際連帯」で参加者四十七名の熱のこもった真剣な討議がおこなわれた。

本会関係参加者は、学生部より辻谷勝弘君、早川淳子さん、東京都渋谷区支部より中西恵美子さん山口支部より磯辺弘政君、愛媛県の伊予支部より山口清吉君が本会代表として参加した。

今回の第二回国際青少年指導者セミナーは、講義があり、その講義に沿って参加者四十七名が、同じテーマのもとに、四班にわかれて討論してあった。

テーマと講師は、次の通りである。

「セミナーとリーダーシップ」
講師　古屋修則
「青少年団体の歴史と発展」
講師　高橋真照
「世界青年会議と中青連」
講師　浜田喜美子
「現代青少年活動の展開」
講師　マダム・デ・ビッツ
「マスコミュニケーションの現状と青年像」
講師　伊藤昇

「学校外教育の現代的展開」
講師　ピエール・フランソワ

講師は、内外青少年活動の著名な指導者で、国際的意味においても、かなりの成果があった。外国の講師は、寒さに震えながら参加青少年の熱心な態度に打たれ本当に真剣な講義を行なった。

討論においては、チューターを設け、中青連に加盟している団体の指導者が、各班に一名づつ付き班の討議が軌道にそれたり、また討議の方向を失い進展しない時等にチューターが、種々の指示を与え、正しい討論が行われた。

討議の中で特に議題となったテーマは、「異なった団体の青年リーダーの相互連携、学習の場」であった。討議の内容は、決して充分ではなかったが、現在各青少年団体が問題としている点を出し合い、お互いにその解決策について青年らしい話し合いや、それと今後の青少年運動のありかたとして、各青少年団体が、どのような役割を果たしてゆくべきなのかなどやわらかムードでの話し合いであったが、それでも、その中に一本、厳しさがあった。

【辻谷勝弘】

研修会に参加して
山口支部　磯部　弘政

第二回国際青少年指導者セミナーが御殿場市国立中央青年の家において開催され、私は友愛青年同志代表者の一人としてこのセミナーに出席した。それによりわれわれが青少年活動をおこなう場合最も重要なことは、各々の集団が一体となり、力をあわせてものごとに対処してゆく必要性を痛感した。例えば国際間の連絡を保つにしろ、マスコミの対策にしろ、政府に対し働きかけをするにしろ各々の力だけではうにもならぬ各団体は、その特色を生かし、お互の横田を理解し認めあって、共通問題については、お互の情報交換しながらの充実した青年活動を展開すべきだと思う。

またわれわれは正しい自己を確立するため常に学び、激しく移りかわる社会のなかで自主性を失わず自覚ある態度と強い信念をもって活動しなければならない。

私はこのセミナーに出席し多くの収穫を得ることができうれしく思っている。各団体の活発な活動を直接見聞きし大いに刺激を受け「自覚あるまいも」と痛感した。

研修会に参加して
関東学生部　早川　淳子

八第一日▽午後一時半から青年の家の緑二宿舎ホールで一同顔をそろえて開会式が行われた。それに引続き古屋先生から「リーダーとしてのありかた」をテーマとしたお話があった。休む間もなくユネスコの会議で来日中のマダム・デ・ビイッが、「現代の青少年活動の動向」について教育者の立場から講演なさったが、日本のそれとは多少性質が異っているように思えた。夜は団体と参加者の紹介が行われたが、このころになるとすっかり打ちとけてにぎやかなった。

八第二日▽朝八時から「青年団体の歴史」と題しての講義の後、古屋先生から四つの問題点が出された「だいこん」「さつまいも」などとかなかユーモラスな名前のつけられた分科会で議が行われた八第三日▽八時からマスコミュニケーションと青年像についての講義が寄せられ時間が延長されたほどだった。「直ちに分科会に入ったが私達の班では「農村における出稼ぎの問題」に激動する社会の中で青年団体はいかにあるべきか」など興味深い議題が取り上げられた。夕食後鏡餅会に移ったが最後の夜にふさわしく非常に楽しいものであった。そしておそのなキャンドルサービスで集いは終ったが、私達は一人一人の心の中にこの平和の光をいつまでも灯し続けたいと思いました。

八第四日▽今までの分科会のまとめをし、全体討議へ移った。

この四日間に私は多くの事を勉強できた。そして疑問に思っていること、グループ活動上悩む悩みなどを多くの人達と話すことによって建設的な意見を聞き本当に心強く感じたのである。その意味においてこのセミナーの意義は深かったと思う。

再認識させられ、この研修で得た知識を今後の活動に生かしていきたいと考える。

研修会に参加して
関東学生部　早川　淳子

八第一日▽午後一時半から青年の家の緑二宿舎ホールで一同顔をそろえて開会式が行われた。それに引続き古屋先生から「リーダーとしてのありかた」をテーマとしたお話があった。休む間もなくユネスコの会議で来日中のマダム・デ・ビイッが、「現代の青少年活動の動向」について教育者の立場から講演なさったが、日本のそれとは多少性質が異っているように思えた。夜は団体と参加者の紹介が行われたが、このころになるとすっかり打ちとけてにぎやかなった。

八第二日▽朝八時から「青年団体の歴史」と題しての講義の後、古屋先生から四つの問題点が出された「だいこん」「さつまいも」などとかなかユーモラスな名前のつけられた分科会で議が行われた八第三日▽八時からマスコミュニケーションと青年像についての講義が寄せられ時間が延長されたほどだった。「直ちに分科会に入ったが私達の班では「農村における出稼ぎの問題」に激動する社会の中で青年団体はいかにあるべきか」など興味深い議題が取り上げられた。夕食後鏡餅会に移ったが最後の夜にふさわしく非常に楽しいものであった。そしておそのなキャンドルサービスで集いは終ったが、私達は一人一人の心の中にこの平和の光をいつまでも灯し続けたいと思いました。

八第四日▽今までの分科会のまとめをし、全体討議へ移った。

この四日間に私は多くの事を勉強できた。そして疑問に思っていること、グループ活動上悩む悩みなどを多くの人達と話すことによって建設的な意見を聞き本当に心強く感じたのである。その意味においてこのセミナーの意義は深かったと思う。

お砂糖　ハト印の大阪製糖

現金より小切手の時代！
個人当座小切手
みなさまの東海銀行

あなたの暮しの設計に
ピッタリの積立預金
7つのプランから　あなたの目標をお育てください
住宅預金　家庭預金
自動車預金　旅行預金
育英預金　結婚預金
お好み預金
住友銀行

お買物は都心のタカシマヤへ
落着いた雰囲気と行届いたサービス、そして洗練された商品をどこよりも豊富にそろえておりますからきっとご満足のゆくお買物がたのしんでいただけます
東京日本橋　高島屋
電話大代表(211)4111

東京都三三カ店
東京都民銀行
頭取　工藤昭四郎

第二次友愛東南アジア使節団報告

交流親善を求めて

団長　中川治男

第三次友愛東南アジア使節団、(団長＝中川治男)一行二十名は去る二月二十二日羽田空港を出発カンボジア、タイ、マレイシヤ、香港、中華民国の五カ国を訪問、数々の成果をお土産に全員元気で三月十三日沖縄経由の日航機で無事帰国した。

過去第一次、第二次友愛東南アジア使節団が築いた各国との親善交流を深め、アジア地域における平和建設のためMAYC、カンボジア社会主義青年同盟等との他の青少年団体と提携を約した。と同時に新たに、バンコック市青少年局、マレイシヤのMYLC、中華民国のアジア問題研究会とも新たに今後の親善交流を約してきた。

東南アジア諸国にもわれわれと同様「友愛の同志」が沢山いることを知り、大いなる勇気を持った。

カンボジアにおいて

社会主義青年同盟事務総長イム・ディット氏をはじめ、多くの青少年関係者と話し合い、想像以上の活動をしていることを知った。首都プノンペンでは、バット・スクール、リセ・ハイスクール、赤十字病院等また世界の七不思議の一つといわれるアンコール・ワット・トム等を見学し、カンボジアの歴史の一端を理解することができた。それから、日本への強い関心を示していることを知りできる限り早く親善交流を緊密にしたいと思った。

バンコック市を訪問して

一番感しかったことは、バンコック市青少年局の関係者と市役所で会見、友好懇談を説明するとともに、青少年局の方針、目的を聞き、共通点が沢山あった。とくにわが友愛青年同志会の資料を求められ、将来親善交流を結ぶことを約した。その日の夕方、青少年局主催のダンスパーティに招待され楽しいひとときを過し、親善を深めることができた。

マレイシアにおいて

特にMAYCとは緊密的な親善交流を行っており、第一次、第二次友愛東南アジア使節団が約束していた〝学生留学生の受け入れを今回の訪問で友愛青年同志会が独自で実現したことは日本の民間社会教育団体から見た場合非常に意義あることである。

クアラルン・プール

空港でトンク・アブドーラ・ラーマンMAYC会長他関係者の出迎えを受けた。夜は、大臣や地元会員の招待で、歌や踊りで楽しく交換した。

ラーマン会長の特別の配慮で、国会議事堂を見学した。丁度、下院の会期中で、議会の様子は、議員が会員ヤホーンを真中に、まるで国際会議のような会議をしていた。議員席は、英国式で両側に向い合い、会員にマイクがあった。

それからマレイシヤ大学を訪問その広大さに驚かされた。農業研究所等も訪問後旅行で始めて汽車でペナンに急行で向ったが、遅れた午後到着した。ペナンでは、MAYCの体育設備やヘビ寺や名所を見学、一泊してシンガポールに飛んだ。

シンガポールでは

MYLA(招待され、まだ大民協会の方々とも交流をはかり、卓球やダンスで楽しく交換した。

香港入りは

飛行機の都合で二班に分れた。シンガポール班は、鳥見物や海水浴で真黒になり、香港班も鳥見物やショッピングで久しぶりにのんびりした数日間を送った。

最後に中華民国を訪問

目的の中国青年反共救国団総部を訪れスライドをみていただき、青年達の活躍ぶりを拝見した夕方、大使館に挨拶にいき、政府青年海外派遣団と一緒に、おそんなに日本の味で楽しい夕食をご馳走になった。台北訪問に陳副総統が他界され、本会使節団も花輪をもって参拝した。

翌日、アジア人民反共連盟中国総会長主催のティ・パーティに招待され、方針等いろいろと話し合った。中華民国を訪問し、新しくアジア問題研究会(会長＝毛)と友交を約し、近国でもお互に充分な連絡を取り、親善交流を深める様努めたいと思っている。

訪問の思い出を

団員　早川三千子

マレイシャの御菓子

【三月一日】私達一行とMAYCのメンバーは、女性クラブの御茶会に招待された。クラブのリーダーは、若い活発な魅力的な女性でミス・ルザナとアリアスが中心となり、朝から御茶会の準備を進めていたそうである。

ミス・アリアスは、社交的な性格で典型的なマヤ美人で、この八日にサラリーマンの彼氏と結婚するのだと目を細かせていた。

マレー料理のほかに、近代的西洋料理も今後の日常生活に必要だということを痛調していた。近代化すなわち西欧化は、今日急速に発展、人間に考え、創り出すということを忘れさせている。それはインスタントなものが多く現われるのを見てもわかると思う。

ここで、マレーの御菓子であるが、出されたお菓子はすべて自家製で、米粉に御姫をまぜ、餅のようにして、上質摩擦をつぶし、着色し、薬実をかため、四角に切った御菓子であった。この御菓子の甘さは、忘れていた幼い日の夢せを、異郷の地において、なつかしく思い出させてくれた。

シンガポールで会った人達

【三月五日】シンガポール「人民協会」の黄さん、モルッキさんは日本にいたことがあり、東京の物価高、特に本アル代が高いことに驚いていた。また、地下鉄に乗る時一回で乗れず、押しのけあって乗る日本人の気持がわからないと不思議がっていた。

マレイシヤ人は、四カ国語をマスターしなければならず、特に、国語の統一が最も大切なのではあるが、また、最も難しい問題であるといっていた。日本は、敗戦後アメリカに占領されていたので、英語が母語のように思っていたマレー人もいた。が、日本は、現在も伝統ある日本語を使っていると話した所、日本民族は、優秀で民族の純潔を守った世界でもまれな民族であるし、いさぎよオーソな讃辞をのべたのだった。

しかし現在は、国際語として英語の必要性を痛切に感じている。

マレイシヤ人の中にはインドネシア領内に親戚がいる人もある。その人達のためにも、アジアの平和のためにも、一日も早く紛争が解決することを祈らずにはられない気持でマレイシヤ人と話し合ってきた。

職員研修会を開く

小人数で充実した成果を

去る四月一日より三日までの三泊三日、本会主催の職員研修会を軽井沢友愛山荘において開催した。参加者は、新たに本部勤務となった、辻谷勝弘君(法大卒)長田正太郎君(日大卒)友愛山荘主事補として勤務している前月研修君(轟木)根本公一君(軽井沢)その他に、組織から特に選ばれた乙井敏夫君(学生部)佐伯昭一君(前橋)玉川伸也君(学生部)以上七名であった。

この目的は、友愛運動を中心に展開される青少年活動についてより多くの知識と研修を深めることを内容として新任になった職員と特にこれから重要な地位に立たなければならない人達に十分な理解をもってもらうことにあった。

講義は、一、友愛思想について(副部長)、二、内外の青少年活動について(講師奥山吉郎幹事長)、三、友愛の組織について、(事務局組織部長)四、他団体の組織活動について、(講師勝村一男日本政治経済研究所事務局長)五、友愛活動について(講師宮川智事務局長)六、レクリエーション指導、(講師鳥川忠光友愛山荘管理主事)七、事務機構及びその処理運営、(講師宮田智事務局長)八、友愛山荘について、(講師高野政利総務部長)九、討議友愛運動について、以上項目の講義をおこない、特に集中的な友愛運動の歴史とかこれからの方向などを語り合ったところに、従来にない小人数であったのもその原因となっている。

研修会に参加して

本部　長田正太郎

四月とはいえ、またまだ寒さの厳しい軽井沢友愛山荘にて、一月より、自分は一部に友愛の事務局に勤める辻谷勝弘君他七名と共に友愛職員研修会に参加した。

友愛にあっては、都道の大会に続いて、正式な行事への参加は二回目であり、まだ見るもの、聞くものが耳新しいものばかりであった。特に、友愛山荘に来ることによって、友愛のふんいきを肌で感じとることができたし、山荘活動(青年活動の一端であろうが)の楽しさを味い、今までの学生時代とは別の地点から青年活動を観ることができたとそして、その活動は、自分を省みじなしに活動の渦の中に引っぱり込もうとしている。

今ここに社会への第一歩を踏み出した自分は、この学生時代の経験を活かす最適の場所を見つけることができ、進んで、友愛活動の渦中に身を投ずる事ができる。

研修会においては、とかく良い点ばかりが残り、苦しかった体験談を聞いても、それは友愛の歴史としての事実認識としてしか自分には残っていない。むしろ、研修会の内容から友愛のこれからの姿を想像すると、もっと限りない友愛の発展を感ずる事ができ、社会に対する責任の重要性が増す事を感じた。また、今まで自分が学生時代に経験した事以外にこの、友愛の歴史が今までに刻んだものとは別の試練を感ずることができた。

研修会に参加して

本部　辻谷勝弘

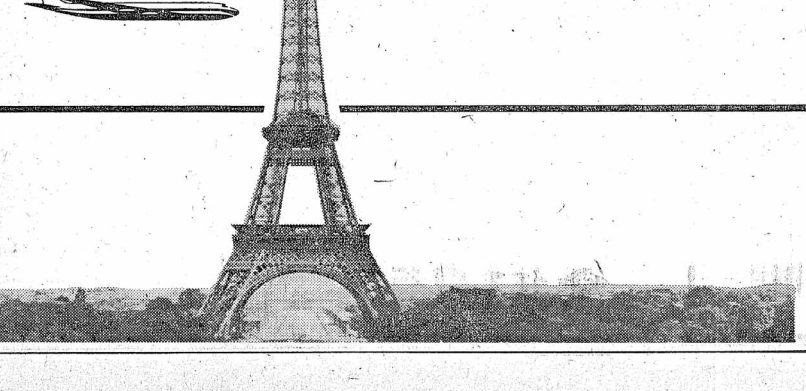
私は、四月一日付をもって友愛青年同志会の事務局員と成りました。このことは、私にとって、ひじょうに光栄なことと思っております。

とにかく、友愛青年同志会に関しましては、ずぶの素人でありますので、参加して、ほんのわずかではありますが「友愛」についての考え方が解ったような気がしました。

が、そのことについては、あくまでも私自身がそうおもうのであって、他の者から見れば、恰も赤子のようにみえることでありましょう。赤子は、少年に成り、一人前の大人になるように、私は、今後、研修会での知識を基礎にして一生懸命勉強いたしまして、友愛運動に携わって参る所存でございます。そのためにも、全国の会員の皆様の力強いご協力を得まして現在ある「友愛青年同志会」をさらに立派な会になるよう努めてまいりたいと思います。

現在、国内において、日本の青少年団体のリーダー的役割を友愛青年同志会がはたしております。理想である「友愛社会」「連帯福祉国家」の建設にむかうためには、日本のみという狭隘にとどまることとなく、幅広く国際的に発展しないならば、恐れてわれわれの理想である「友愛社会」「連帯福祉国家」の実現は、不可能なことでありましょう。

AIR FRANCE



パリへの直行便
《北極回り》

スピーディに…快適に…ヨーロッパへのビジネスは、エールフランスの〈北極回り〉が便利です。

北極回り　東京発　午後　10時30分　〈水・金〉
パリ着　翌朝　9時 5分

なお、南回りは〈月・火・木・土・日〉の午前10時30分パリへ向け就航しております。

エールフランス

東京都港区赤坂溜池　エールフランスビル　電話(584)1171代表
東京都千代田区日比谷　三井ビル　電話(501)6331代表
大阪市東区大川町淀屋橋　勧銀ビル　電話(202)6326代表
名古屋市中村区広井町3−88　大名古屋ビル　電話(54)0540

【写真はマレイシヤMAYCの歓迎レセプションの後記念撮影をする】

大会で資質向上図る
都連 体育祭なども企画

東京都青年部連合会はさる三月二十八日、文京区同心町松風荘同盟葬連会館にて、第七回東京都支部連合会大会を開催した。

栁沢定勝氏の開会の挨拶に続き、本部から奥田吉郎幹事長の挨拶と祝電の披露があり、来賓として、鹿島守之助、宮井謙両参議院議員、石井桃参議院議員秘書、四宮久吉衆議院議員、古賀一郎文京区議会議長、香取・白石両区議会議員、土橋金作、中内保光文京区議員、大塚徳次郎荒川区議会議員、江藤彦武元消防総監、西木忠子友愛婦人幹事長、友好団体として核禁会議和田耕作事務局長、世界連邦日本青年協議会、高畑三事務局長、日本青年団体国際委員会斎藤治一事務局長、群馬県前橋支部長、佐伯昭一君の祝辞があり、司会は北区支部鈴木進君、議長に文京支部の飯塚祥二郎君を選出して大会が進行された。

清水事務局長より、昭和三十九年度一般会務報告および収支決算報告が行われ、承認された後、昭和四十年度運動方針、事業計画組織活動方針、予算に就いて審議され、承認された。

運動方針として、①組織活動を中心にし、未組織地区に支部を結成するとともに、弱体化した支部を再建する②都連体育祭をはじめ各会員が参加できるような大事業を実施し、会員の団結をはかる③会員の資質の向上を図るため、本部の研修会に参加するとともに、都連にも自主的におこなう。

事業計画の主なものは、六月初旬＝バスハイク、七月中旬＝働らく婦人野外の集い、九月二十六日＝都連卓球大会、十月中旬＝都連体育祭、二月中旬＝スキー教室その他、七月下旬に、沖縄訪問友愛文化親善使節団を派遣する予定である。

組織活動方針としては30区市町村支部の結成促進②会員倍加と会費完納運動③情報宣伝活動の強化④弱体化した支部の再建などである。

昭和四十年度役員はつぎのとおりである。

会長　栁沢定勝
副会長　佐々木恵美子
〃　中川治男
事務局長　清水幸雄

関東学生部総会開く
新委員長に宮崎君を選任

去る四月二十一日、台東青年館において午前十時から第12回関東学生部総会を開催した。本部から奥田吉郎幹事長、都連より清水幸雄事務局長石橋俊伸福岡学生部委員長を迎え新年度運動方針、組織計画、事業計画、役員等を審議した。午後から「役員運動前進の為」と題して北川憲常任幹事の講演があった。引続いてゲーム・フォークダンスを楽しんだ。

新年度決定事項は次の通りである。

運動方針

本年度は過去の輝かしい業績と貴重な体験を生かし、さらに会員の強い団結と協力と努力により、学生部の組織充実をはかり友愛運動に寄与すると共に、学生として青少年としてその特色を生かし、誇りあふれる活気ある運動を行なうことを方針とする。

組織計画

現在既成の関東、中部、関西、中国、九州、四国の六ブロック九学生部の他に北海道等の学生部の結成を働きかける。北海道には特に積極的に働きかけて年度内に支部を結成する計画である。

役員

委員長　宮崎久男
副委員長　北原繁
事務局長　早川淳子
次長　岡本省三
次長　大熊隆司
次長　山田行春
奈良岡とく
伊藤純一
乙井俊男
丸山佐知子
組織部長　星野京子
国際部長　添野元晴
文化部長　高見沢誠
常任委員　武山政人
〃　広沢勇彦
〃　浜克彦
〃　平川千万里
〃　西田寧子
〃　吉井保
〃　唐沢信子
〃　山崎宏
会計　木下完二
会計監査

友愛会員の理解求む
阿倉川支部 慰問に感謝をこめて

昭和二十八年より続けられてきた、阿倉川支部（支部長＝川口通君）の国立腸病療養所（静岡県御殿場市）への慰問は、その後もつぼを脚ったり、会員の手で造った物を集めたりして届けられてきたが、このたび、療養所の代表者より本部あて礼状が届いたので、全国会員とともに、病の早く癒えることを願い、また一層の協力を全国に呼びかけたいと思い、ここに掲載する。また、各地においても、恵まれない多くの人達に暖い友愛の手をさしのばしてやりたいものである。【編集局】

謹啓、春めいて参りましたとやうすごしやすくなりました。御健勝にて御精励の御事とお察し申し上げます。

扨て、突然このようにうつけなおたより差し出しまして恐縮に存じますし、また、御不審におもわれますことでございましょう。実は四日市々阿倉川支部の松井事務局長からもことばやおたより差し上げますようにいわれましたが、本日おそとより申し上げなく存じます。

私は当腸病療養所に入院療養する二患者であり、かつ三重県人会の代表であります。阿倉川支部の松井事務局長からもご紹介にあたって下さっておりますし、御父様を脚って